

京林大だより

No.19



絵:卒業生 熊走君

4期生入学



府立林業大学校はこの春開校4年目を迎えました。桜満開の4月6日には和知ふれあいセンターで入学式が挙行されました。

全国から集まった林大第4期生は22名。

新しい顔ぶれで林大エンジン始動です。

入学式では、只木良也校長が新入生たちに「ともに勉強しましょう！」と力強くエールを送るとともに、地元のみなさま・来賓のみなさまから祝福のお言葉をたくさんいただきました。

入学式終了後は、和知駅前活性化委員会のみなさまから今年もお祝いに餅つきをさせていただき、新入生はじめ保護者の方々とともにご馳走になりました。

地元のみなさまには、これまでから大変お世話になってきました。心より御礼申し上げます。



今年も踏破！ 恒例

和知の林大から舞鶴港まで二日をかけて山道を51km歩き通します。

全員無事ゴールイン。
達成感いっぱいです！

舞鶴港
とれとれセンター

仏主

弥仙山

林大

綾部(上林)

日本海ウォーキング



★スタッフ紹介★

4月に人事異動がありました。
今年はこの15人が林大のスタッフです。
どうぞよろしくお願いいたします。



校長室より

『若葉展開の季節』

校長 只木良也

4月6日第4期生入学式。地元和知駅前活性化の会のお祝いの餅つき。何時も有難う御座います。

新入生22名、和知という新しい土地で新しい年の芽吹き。歓迎する裏山の木々も一斉に新葉を展開中です。

春は芽吹きの時。

こんな話題は如何でしょうか。

かつて長野県松本に勤務(信州大学)の時、街の東の山(標高2,000m)の斜面に全体的に生育するカラマツが春先、麓から頂上に向かって順に緑になって行くのに興味を覚えました。山の低いところほど早く暖くなるからですが、葉の開いて行く段階と気温との関係を、学生連中の協力の下、十数年間調べてみました。

今月の授業参観

育苗技術

林業は山に木を植え付けることから始まります。

何十年先に、まっすぐで太い木に育つ優れた苗木を作るとはとても大事な技術です。

学生たちは、福知山市夜久野町の緑化センターで苗木づくり(育苗)の実習を行いました。



春爛漫の和知駅。お世話になっています。

春に向かって、毎日の日平均気温を、2℃を上回る分だけ足し上げてゆきます。この積算温度が100℃に達すると葉が開き始め、その後、これに225℃を加えて葉の展開は完了。

このルールはどの標高でも同じで、平年は、松本では4月1日開葉開始、25日完了。これに対し、松本より1,400m標高の高い山頂では、開葉開始5月11日、完了6月5日でした。

ところで、殺人事件あり、犯人は死体を山中で焼却。時は5月。その焚き火の脇にあったカラマツの葉が、熱にあおられ、半開きのまま枝に残っていました。

その葉の開き具合と気温データから焚き火の日を推定。半年後犯人逮捕。その自供の日と1日のずれ！
だったのです。

